

スマネットだより

坂井町障害者交流センター 第3号 平成19年3月発行

昨年からはやりだし、年末の紅白歌合戦で一躍全国的に大流行しだした「千の風になって」という歌を皆さんもご存知のことと思います。この歌は、英語の詩を翻訳し、日本で曲が作られたものです。英語のもともとの詩は作者不明で、ヨーロッパで作られたものが共感を呼び世界に広まり、9.11テロの遺族が被災地で朗読し一躍有名になりました。

このルーツを考えるとちょっと不思議に思えてきます。欧米は基督教の国であり、神はイエスのみ、輪廻の思想もありません。しかし、この詩で謳われているのは、魂の永遠と姿を変えて家族を見守る姿です。あまりにも、日本的、あるいは東洋的発想です。人は人種や宗教に関係なく、魂の根源に同じ価値観を共有しているのだと、あらためて感じました。

人は喜怒哀楽と多面性を持っております。しかしその中であつても、人の優しさが広がる社会が、地域が来ることを願って止みません。

監事 伊藤 聖一



スタッフ日記

昨年の話になりますが、当センター理事の多田憲市様の方から三国町池上地区の梨園の木を2本戴きました。多田理事は、現在「NPO 法人農と地域のふれあいネットワーク」の理事長として活躍されておりまして、たびたび新聞や雑誌などでよく目にします。多田理事は、センター活動の1つとして農作業を通じて共に成長をしていければということでお話をしたところ快く受け入れてくれました。(この場をお借りして再度お礼申し上げます。)

ということで、昨年の12月11日(月)午前中に職員で梨の木のせん定講習会に行ってきました。上の写真はその時の様子です。講師の指導のもと、梨の木の枝を切り落とし、整えていくのですがこれがまた悪戦苦闘・(涙)上を向いての作業に肩もこるやら・(涙)普段何気なく口にしている食物を育てるまでの工程、改めて大変さを実感しました。そう思うと、個人事で申し訳ないのですが、うちの祖父・祖母は本当にスゴイ!!

どんな仕事にも楽な仕事はありません。みんなで楽しく収穫祭をして、食べておいしさを味わってもらうことを考えると上記の苦労なんか屁の河童じゃないですか☆彡 収穫祭は、8月中旬～9月中旬を予定しておりますので、皆様楽しみに待っててください。🌱 ~ 編集後記 ~ 🌸

行事予定

3月25日(日)に、坂井町障害者交流センター周年祭を行います。

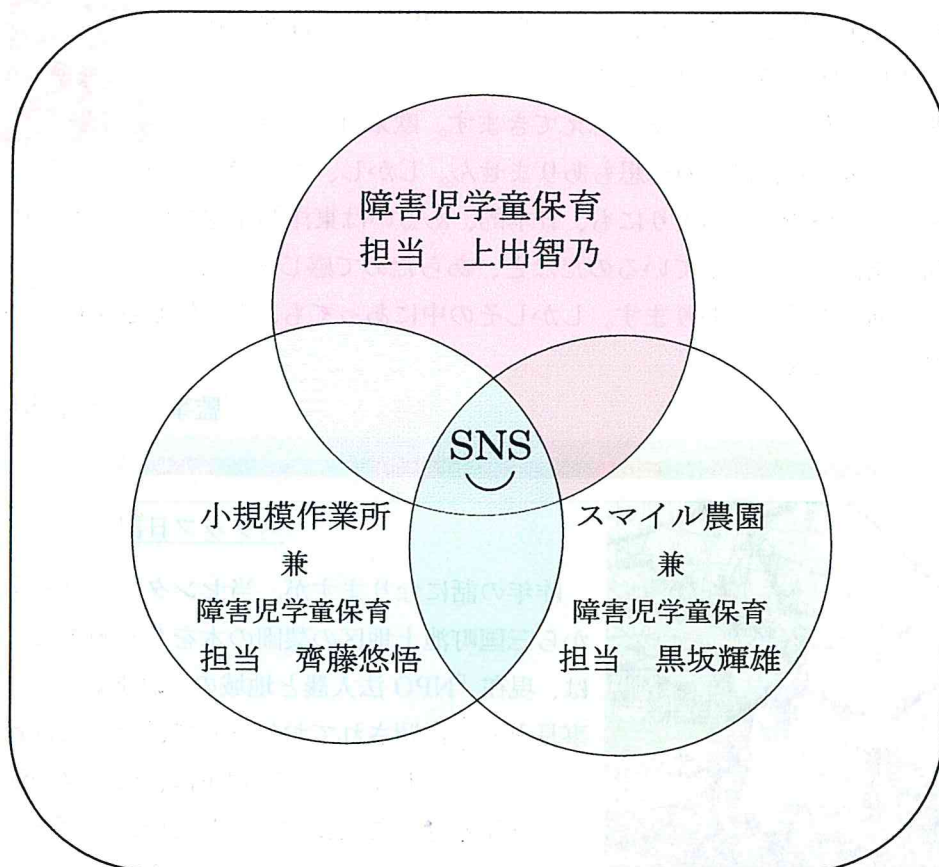
※ 詳細については、後日お知らせいたします。

早いもので、センターが設立して1年が経とうとしています。初年度は設立したばかりなので、甘えも許せたかと思いますが、2年目以降は実績を積み上げていかなければならず評価がすべてだと思います。そのためにも、皆様方の温かな手を今後ともお借りし、より一層夢のもてるセンターを目指していきたいと思っております。

裏面あり

～夢のもてるセンターをめざして～

特定非営利活動法人 スマイルネットワークさかい



- (1) 障害児学童保育 障害児の為の生活支援をする中で、障害児をもつ親の就労支援を行い、障害児が喜んでもらえるような**楽しい学童保育**を目指す。
- (2) 小規模作業所 障害者が主役の家庭的な温かい環境の中で**就労の喜び**を感じてもらえるような作業所を目指す。
- (3) スマイル農園 自然の中で作業や日常生活を通して自らの情緒を安定させながら、**心身が癒される**農園を目指す。